

通所介護サービス 自己評価・外部評価 評価表

R4年12月

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	回答
			実施状況						
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない			
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			在宅生活の維持そして「憩いの場」として活用していただけるよう努めている。		
(2) 適切な人材の育成									
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			理念の掲示を行っている。理念の唱和を行い、共有ができています。		
	3	運営者は、専門技術(アセスメントなど)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				コロナウィルスの影響で外部研修はZOOM研修とし、内部研修は定期的に行っている。	コロナ禍でも研修の機会が確保できていることは評価できる。	引き続き、サービス向上のため内外問わず研修を受けていきたいです。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			ベテラン職員からの指導によりレベルアップを図っている。	個々の能力評価はどのようにされているのか？	職員がそれぞれ自己評価を行い、管理者と個別面談を行い、新人職員は毎日日誌をつけ振り返り指導担当者や管理者からのアドバイスをもらうようにしています。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				申し送りなどで共有を確保している。	今後も継続して確保してほしい。	
(3) 適切な組織体制の構築									
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			業務シフトの調整を行いながら対応している。	コロナ禍で大変かと思いません。	
運営推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	運営推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			運営状況・活動状況など報告している。		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			相談員よりお話をいただいている。		
(5) 安全管理の徹底									
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、災害時対応等)	○				緊急連絡網及び災害時安全確認の携帯アプリの活用を行っている。	携帯アプリの活用方法を利用者・関係者に周知してほしい。	今後、機会があればご説明したいと思います。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報同意書を作成し説明、同意を得る。所定の保管場所に収められている。		
(6) サービス提供困難時の対応									
サービス提供困難時の対応	11	水から適切なサービス提供が困難な場合、利用申込者に係る居宅介護支援事業者への連絡、他の事業者等の紹介など必要な措置を速やかにとっている		○			連絡を取り合い行っている。		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	12	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			生活リズムにあったアセスメントが行われている。		
	13	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			情報共有している。		
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			ケアプランに添い作成している。		

	15	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている					環境整備、ADLに合わせたケアの方法を検討、提案している。	「未来志向型」の計画はケアマネにとっても課題。連携しながらお願いします。	ケアマネ、ご家族とも連携していきます。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	16	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					ご本人・ご家族の要望を聞き取りし説明を行っている。	十分な情報提供という点で工夫されていることがあれば教えてください。	特に決まっていますが、送迎時にご家族とそこの日のご様子などお話しするようにしています。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	17	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている					ご本人、またはご家族に書面を見て頂き説明を行い署名・捺印をいただいている。		
	18	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている					状況変化、サービスの変更は、随時家族に報告している。		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	19	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている					担当者会議で確認された日時でサービス提供を行い、必要時には相談し変更が行えている。	情報共有についても調整についても共同で決められている。	
	20	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている					ケアプランへの提案は行っているが、地域のフォーマル・インフォーマルの活用までは提案しきれていない。	ケアマネも社会資源の活用は課題。家族や地域住民との交流などもインフォーマルサービスの1つとなるため必要に応じて様々な提案をしてみてください。	コロナ禍で中々開りが持てずいます。地域の回覧板など活用できればと考えます。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	21	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている					コロナウイルスの影響で集まる機会は少なかったが照会等で共有できた。	工夫して参集しての担会をしていきたい。	引き続き、連携していきます。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	22	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)							
	23	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)							
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	24	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)							
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
運営推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	25	運営推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					会議の議事録をホームページで開示している。		
	26	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている					コロナウイルスの影響で未実施。今後状況を見て行っていきたい。	推進会議を通じて地域の方にサービスを知ってもらうなど地域交流の1つとして活用してもらえれば。	皆さんに知っていただけるよう努力していきたいです。
(2) まちづくりへの参画									
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	27	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している					理解しながら支援できるよう研修会等参加し学びたいと思う。		
サービス提供における、地域への展開	28	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている					建物に限らず、サービス提供していきたい。	具体的にどのようなサービスを考えているか教えてください。	地域密着とはいえ、広いエリアの送迎には無理があるのが現状です。利用者様に負担にならないよう考えていきたいです。

安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	29	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)							
Ⅲ 結果評価 (Outcome)									
サービス導入後の利用者の変化	30	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			目標達成のためにサービスが提供できるように努めている。		
在宅生活の継続に対する安心感	31	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○		ご本人、ご家族から出かけるのを楽しみにしている。とお言葉をいただいている。	今後もよろしくお願ひします。		

